



Sunny Side Letter

カウンスル No.4 2018-2019

感謝の花束

Vol. 31.No.3

Jun.12 2019

ご挨拶「感謝の花束」

感謝の花束を皆様にお届けします。

第31期カウンスル No.4 会長を務めて、ITC-Jの会員の皆様のご協力に感謝いたします。

私は、お世話になった会員の皆様に感謝のことばとして、「おかげさま」と言わせていただきます。

「おかげさま」は今の世の中では、日常に使われています。他人から恩恵を受けた時に、感謝や謙遜、奥ゆかしさを表す言葉として使われています。

この「おかげさま」の意味は、世の中のものは、すべて単独で存在しているのではなく、関わりの中で生きているという意味と考えられています。

この一年、役員の皆様、また各クラブの会員の皆様の暖かいご支援とご協力で、会長職を進めてこられました。

まさに、カウンスル No.4の会長として存在できたのも、会員の皆様の「おかげ」であります。

どうか花言葉「おかげさま」をリボンで結んだ、私から皆様方への感謝の花束を受け取って下さいませ。



カウンスル No.4
会長 金子三屋子

常任委員長の一言



会計監査委員長 早間 文子 (福山)

第 31 期決算終了後 一年間の収入・支出が適正に処理されているかを日朝史子委員と一緒に通帳・領収書・帳簿等を照合し監査致します。



予算・財務委員長 梅谷 由加里 (福山)

カウンスル No.4 第 31 期は会員数 159 名のスタートとなりました。年々会員の減少により予算も少なくなっていく中で、如何に無駄を省き、収入を増やしていくかが課題でした。一番経費がかかる会合の会場費を削減し、プリンティング&バイで皆さんに協力して頂くことで、今期を乗り切ろうと考えました。

来期は会員の増員に力を入れ、活気のある会を目指して行きたいと思っております。



会則・決議委員長 沖田 道子 (ひろしま)

今期は役員会からカウンスル No.4 細則 1 に対する細則修正案が提出され、第 2 回会合で賛成多数で可決されました。細則 1 は下記となりました。

1. 会合の回数および日程および中止
 - 1.1. 会合の回数及び日程は役員会で決定し、原則的に 8 月 1 日までにクラブへ通達される。
 - 1.2. 非常時における会合中止は役員会で決定し、各クラブに通達される。
 - 1.3. 中止した場合の登録費返却についてはその期の役員会に一任する。



会員委員長 川上 佳代子 (ひがし広島)

カウンスル No.4 のたくさんのクラブを訪問させていただきました。どこのクラブも工夫されたプログラムに新鮮な驚きと感激を覚えました。皆様、他クラブ訪問をお勧めいたします。いろいろな発見があります。カウンスル No.4 の会員減少を止めたいと願っていましたが、今期新しい会員をお迎えできて本当にうれしいです。クラブ活性化はやはり「楽しく学ぶ・楽しく集う」から始まると思います。第二副会長としての一年間大きな学びをいただきましたことを感謝いたします。



プログラム・教育委員長 光成 史子 (福山)

今期 ITC-J となり新しく出発する事になりました。できるだけ多くの会員の方に参加してもらえるように「心に残る」プログラムに致しました。第 1 回会合は「探そう心の平和」講師に伝田三男様をお招きしてコーチングを行いました。第 2 回会合はスピーチコンテストで「磨こう 聴く力 話す力」に致しました。その後は「和みの時間」としてカルテットの心にしみる音色を聴き、やすらぐ事ができました。第 3 回会合は「クラブ・プログラム自慢」で自クラブのいいところをアピールするという全員参加型のプログラムに致しました。新たな出発をする事になりました ITC-J が日本から世界に発信できるような会に育っていく事を願っております。

常任委員長の一言

スピーチコンテスト委員長 米門 公子 (ひろしま)



4月2日に第31期スピーチコンテストを無事に終えることができました。各役割担当の皆さまがきっちり任務を遂行してくださったお陰と、委員会一同、心から感謝しております。

結果は、第1位：村上洋子さん(ひろしま)、第2位：西直子さん(福岡)、第3位：早津聰子さん(岡山あくら)でした。審査員の方々が「スピーチのレベルが高く、審査をしていて楽しかった」とおっしゃってくださり、これもまた、うれしいことでした。

ウェブサイト・歴史委員長 熊代 百合子 (岡山)



昨年に続き、Web委員会は同じ委員3人でHPの作成をしている。繁森委員長から今期は熊代へ委員長を交代したが、HPの基本は変わっていない。カウンスル会長の意向に沿い、またサニーサイドレターの編集者とも連絡を密にして記事の重複を避けている。HPの利点は迅速性、枠にとらわれず多くの記事、写真が掲載出来る事と考え、今期はクラブ訪問、クラブの毎月例会会長挨拶、例会の優れたプログラムを教育資料に加え、HPを充実させた。昨年度からのアクセス数は現時点で4,000を越えている。会員皆様のご協力を大変嬉しく思う。

おめでとうございます

第二回カウンスル会合で、第31回スピーチコンテストが行われ、各クラブの代表者9名が素晴らしいスピーチをされました。見事、優勝されたひろしまクラブ 村上洋子さんに喜びのお気持ち・ITC-Jスピーチコンテストへの意気込み・今のお気持ちなど伺いました。

第31回スピーチコンテスト優勝者



ひろしまクラブ 村上洋子

論題：時間

題目：賢い・人

素敵な会場でスピーチできて、楽しかったです。
選んだ題材が「人工知能」で、スピーチらしくないかな？と心配だったのですが、聴衆の皆さんが熱心に聞いて下さり、また内容にも賛同して下さったのも有り難かったです。
ITC-J大会でのスピーチコンテストは初めての経験です。
何時ものようにスピーチできたらいいな、と思っています。

ITC-J への想い

話し合いは 知的共同作業



ひろしまクラブ
桑原美紀子

令和になったら、自分の考え方や自然の空気まで、変化した思いがします。ITC も昨年から ITC-J になり組織のあり方にも考えることが多くなりました。原稿の依頼を受けて何を書くべきか悩みましたが、ふと私が 19 期リージョン会長時の資料を読んでもと、何と最盛期の会員数 1,818 名（内重複会員 20 名）で、リージョン分割の問題が大きなテーマになっていました。そして運営上の悩みは、今と全く同じ事でした。

- (1) 会員の減少に悩んでいる。
- (2) 新入会員とベテラン会員との差をどう埋めるか。
- (3) 高齢化で家族の問題を抱えて例会にでられない。役員はできない。
- (4) もっと自由な発想で会の運営をしたい。

『座しては敗北を待つな。自ら行動をおこして改革せよ！』 ドラッカーの言葉を私は大切にしています。

平和こそ願い



福山クラブ
倉田眞澄

私が ITC に出会った頃は、議事録は手書きでした。カウンスル会合の議事録は手書きの物を各クラブの派遣員に郵送で回し確認チェックをしてもらいました。間も無くワープロが出来、郵便から FAX となり、パソコンが行きわたり通信も、E-mail 通信が当たりまえになり、「スマホ」一つ有れば何でもできる時代になりました。

社会も「女は家に、夫唱婦随・・・」が主流でした。新しい社会を求める私は ITC 精神に興味を持ちました。世界平和を願い、知的で、華やかで、自由で公平、ロバート議事法等を実践しながら学べる会に憧れました。ITC 会員も急激に増えました。本部はアメリカ、アナハイムに有り、事務所建設に寄贈もしました。突如経済的ショックが世界を襲い、ITC をも襲いました。本部はニュージーランドへ移りました。ITC 組織を見直す時が訪れ、ITC は ITC-J となりました。時は流れ、手段・形は変わっても ITC 精神は私の拠り所です。

岡山クラブを ふり返って



岡山クラブ
黒住裕子

ITC 阪神クラブから優雅で素敵なた方が指導に来られ、岡山クラブは誕生しました。チャーター会長は私の義母黒住千鶴子で、テーマは「潤い豊かに」でした。メンバーは専業主婦が多く、明治生まれの義母を“お母様”と呼んで敬愛し、教を乞いました。二代目は黒瀬眞紗子会長で、優れたリーダーシップで皆の心を一つにしました。以来 33 年、歴代の会長はそれぞれその人らしい好ましいボードを作って活躍されました。次期役員やスピーカーは順番で平等に決め、カウンスル会合や年次大会に多く出席するため、その前後に小旅行を計画して楽しむなど、底に流れていたのは”潤いのある豊かな和の心“であったと思います。

岡山は今期も 32 名で出発しました。岡山の歴史を大切にして、チャーター以来あまり 30 名を割らなかつたことを誇りにして来たクラブを、私たちもしっかり守っていきたいと思います。

ITC-J への想い

楽しく生きる 私の居場所



安芸クラブ
高木彬子

新しい時代に必要とされる能力とは、多様なものの見方による自由な発想のコミュニケーション力であると言われ、それには、傾聴の大切さを問われています。その能力は若いから身につくというものではなく、生涯かけて身につけていくものだと思っています。

若い頃、新しい社会像を描くのに、これからをどう生きるか、自らの設計図をもたなくてどうするのかと仕事の上で悩んでいた矢先、ITC-Jの仲間にしていただいたのです。

今その間に身についたことを整理してみますと、私の生き方の流儀の中に、この会でめぐり逢えた友人や、志をもって創設された方々の思想をいただいて、磨かれ成長したことのほうが多いことに気づきました。お互いに相手の良さを認め、吸収しながら自分の生き方を磨いていく、そんなグループはここだけ、私はこの組織のメンバーであることを誇り高く、未完成な会員としてこれからも地道に学びたいと思っています。

ITC-J と私



岡山あくらクラブ
仁熊史枝

私が、ITC-Jに入会して今年で30年になりました。クラブの方々と、手探りで会を始めた時のことが、今更ながら思い出されます。会を重ねるうちに、会の良さをしっかりと理解してまいりました。今では、いつも私のそばにITC-Jがいます。クラブの会員は皆家族です。

No.4の会合に出席し、全国大会に出席をして、多くの方々と出会い、沢山の事を学びました。時には、他府県のクラブを訪問することもあります。どこのクラブに出席しても、どこかでお会いしているようで、楽しく参加させていただいています。

年号が新しくなりました。令和になっても、ITC-Jがますます輝き、発展していきますよう願っています。

ITC-J 大好き!!



瀬戸内クラブ
近本節子

私とITC-Jの出会いは28年前くらいです。友人が「福山に自分のためになるクラブが出来そうよ、行って見ない」とお誘いを受けたのが始まりです。模擬例会では先輩のスピーチ、立ち振舞いの美しさに圧倒され自分の来るところではなかったと思いましたが、段々興味が湧き入会することにしました。カウンセル No.4 第10期の役員を経験させていただき多くの事を学び、ITC 大好き人間になりました。広い地域にわたる多くの友人もでき、色々な役職も経験させていただき自分自身大きく成長できたと自負しております。

第36期にITC-Jと名称が変わりましたがコミュニケーションやリーダーシップを学びながら品格を磨き人間力を高め、心の友と出会い、絆を深めることは変わりありません。今年度はITC-J第37期第2回年次大会コーディネーターという大役を頂戴して身の縮む思いです。皆様のご協力をいただき、年次大会を成功させたいと願っています。

ITC-J への想い

評価の大切さ



福岡クラブ
井上弘子

ITC-J は、内容においてクオリティーの高さは際立っていると思います。その中で始めて出会ったのが「評価」です。25年前福岡クラブが創設されてすぐ何も分からず第1回目のスピーチコンテストのスピーカーになり、「評価」を始めて受けた時は驚きましたし、衝撃を受けました。その後「評価」を受ける機会が多くなると、「評価」は自らが成長する為には不可欠であり、次に生かせるものだと実感しています。最近「評価」をする立場になると難しさを感じていますが、これまで受けた「評価」を参考にしています。ITC-J で学んだ事は、外部でも実際に役立てた経験が多々あります。

この役に立つメソッドが満載の ITC-J の素晴らしさを若い方に、将来指導的立場を目指している方に、知ってほしいです。どのような場でも上を目指すには、「評価」は必須アイテムだと思います。

不思議な魅力



ひがし広島クラブ
佐藤真朱子

70歳でチャーター会員となり、早いもので今期13期です。毎月楽しみに例会に出席していましたが、やがて家族二人が病気となり、自分自身も歳を感じるようになってやめようと思いました。しかし、「やめて家の中にずっといたらボケるから出ておいで」とか、「何でも手伝うから」と言われて役員になったりと、クラブの人たちの声に引き留められています。やめるチャンスは何度もあったのだけど……。新しいパソコンに買い替えたけれど使いこなせなくて悪戦苦闘。つい弱気になります。それでも ITC-J はもちろんクラブに何か不思議な魅力があって頑張っています。

若い人たちに ITC-J は本当に良い勉強の場だと思います。たくさんの人に学んでほしいです。そしてどうぞいつまでも年寄りにも優しい ITC-J でありますように。

バイリンガル 西条クラブへの想い



バイリンガル西条
クラブ
乙野靖子

カウンスル No.6 北摂クラブに入って32年になりますが、英語落語の活動が忙しかったので、ITC-J での活動は主にクラブだけに限られてきました。そのクラブでの経験を基に、今期はバイリンガル西条クラブ会長として頑張っています。

クラブ会員数が少ないので、プログラム委員会にも関わっています。忙しい生活の中でも、毎月1回の出席が楽しみになるようなプログラムを作成しようと、委員長と共にかかりのエネルギーを費やしています。仕事を持ち、その上子供の教育や、大家族で超多忙な会員が多いので、よほど魅力的なプログラムでないと~~~、そして出席した限りは、必ず発言するチャンスを持ち、参加意識が高められるプログラムも取り入れたいと思っています。

英語落語の活動でクタクタになっている時は、朝早く東広島に行くのは、かなりしんどいなあとと思います。しかし帰りの新幹線では、「アア楽しかった！行って良かった！」と満足感で一杯になれる不思議なクラブです。

クラブ訪問記

～岡山あくらクラブ 4月例会～

岡山あくらクラブ第8回チャリティー茶会へ行きました。林原美術館に入り受付で、募金箱に少しばかり入れて私もチャリティーに参加させて頂きました。今年は竹をテーマの設えで、中庭には芽を出したばかりや少し伸びた筍が5、6本生えていました。会場には青竹の筒に椿を入れて又籠にはひげ根の付いた筍。この筍や青竹、椿なども会員が掘ったり、切ったりされたようです。一弦の八雲琴を聞きながら、他クラブの方達とお話しをしながら、点て出しのお抹茶、会員



お点前のお煎茶、お菓子を美味しく頂きました。お茶菓子は被災地のお取り寄せでした。美術館の企画展は「何が入る？何を入れる？」ギャラリートーク良かったです。あくらクラブの皆さんが其々の立場で協力されている事にクラブの和と力を感じます。チャリティー茶会が8回も続いている源ですね。楽しい一時を有り難うございました。

報告・福山クラブ 豊田麗子

～安芸クラブ 5月例会～

安芸クラブは、今期3名の新入会員を迎え、会の運営として理想的な30名（重複4名）のクラブで、先ず食事から始まった。和やかに会話もはずみ、ゆったりとした時の流れに気づき腕時計を見ると、すでに1時間経過していた。食事タイムを「大切なコミュニケーションの場」と位置付けた、クラブの方針だそうだ。プログラムは英国式のディベート。論題は「キャッシュレス社会が良い」で、私達の実生活に起きつつある身近な問題なので、ディベーターからの情報はとても興味深く、フロアーからの質問タイムもあり、判定は全員参加で盛り上がった。笑いを誘う



場面も多々あり、まさに「スマイルディベート」となった。1つのプログラムの役割を、沢山の会員で分担して作り上げていく工程の中で、体験し、学ぶものは計り知れない。今回、第三者的立場で他クラブを訪問し、この組織の仕組みの良さを再確認した1日となった。

報告・カウンスル No.4 会計 藤岡敬子

～バイリンガル西条クラブ 6月例会～

会長はじめ会員の皆様の心温まるホスピタリティーに包まれた今期最後の例会は、一般ゲスト11名を含め、25名のゲストを迎え、華やかな雰囲気の中で、始まりました。今は数少なくなったバイリンガルクラブらしく、乙野会長は英日の両国語でビジネスをスムーズに進行されました。第8期役員就任式はインストラリングオフィサー金子カウンスル No.4 会長で厳かに行われ、次期役員熱意もしっかり伝わってまいりました。“娘がオリンピックの切符を掴むまで”の演題で行われた三浦雅美会員の講演は、体操選手として2回のオリンピック出場を果たされた我が



子を、親として愛情あふれる中にも冷静にサポートされたご様子がプロジェクトを通して伝わってきて、素晴らしい時間でした。No.4に参加され1年半、その経緯に関わった期の会長として感慨深く、今後とも同じNo.4会員として、共に歩んでいきたいと思いました。

報告・カウンスル No.4 議会法規役員 成定正子

はじめまして、入会しました！

岡山クラブ



植松福子

4月野山が花色に染まる頃導入式をして頂きました。まるで新入生の門出の様な引き締まる思いが致しました。コミュニケーション能力の向上には自分が苦手ゆえに常に興味を持っておりました。会に参加させて頂き、ワクワク感と緊張感を味わっております。そして会員の皆様の学ぶ姿勢に触れ、自分の中に何か「新しい息吹」を感じました。

私自身だいぶ背伸びをしないとイケないと思いますが、会員の皆様から色んな刺激を頂き自分磨きが出来ますことをとても楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。

バイリンガル西条クラブ



西辻 まい

私がバイリンガル西条クラブと出会ったのは、高校時代の塾の恩師であり、このクラブでも活躍されている、吉長あけみ先生からのご紹介がきっかけでした。「楽しいから見に来ない？」という一言だけで、初めは軽い気持ちで見学に行かせていただきました。そこには、私が想像していた以上に興味深い、そして活気溢れる英語の世界が広がっていました。特に印象的だったのは英語落語です。着物を着て扇子を持った乙野会長の、テンポの良い英語と、少しの関西弁が見事に融合し、映像となって、すうっと頭の中に入ってきたのです。それから私はこのクラブが一気に好きになりました。私はここで、英語で自分の気持ちを伝え、相手のことを知り、多くの人と心を通わせられるようになりたいです。

美しい言葉

感謝は喜びである。

だから感謝をしないということは、喜びを放棄する事と同じだ。
恩恵を受けたとき、感謝の気持ちを持つことができれば喜びは大きくなり、
大きな光となって心を輝かせてくれる。

レックス・ロビラ（人生の贈り物より）



～ITC-J 年次大会で販売されます～

クリアファイル 3枚一組 800円

ITC-J バッジ 2,000円

《編集後記》

会報3号は、「ITC-Jへの想い」という特集を組み、魅力あふれる会員の皆様に紙面を飾っていただきました。限られた紙面に原稿を収めるという会報作りの苦労もありましたが、冊子が出来上がった時の大きな喜びを経験することも出来ました。快く原稿をお寄せいただきました会員の皆様に、委員一同、感謝の気持ちでいっぱいです。一年間、大変お世話になりました。

編集者：和田晴子（岡山）

委員：村上敦子（福山） 島村 忍（岡山） 時光育子（岡山）